

<目次>

- 1. 分析の前提
- 2. 予測モデル
- 3. テータでみる相撲
- 4. 今後の予定





< 目次>

- 1. 分析の前提
- 2. 予測モデル
- 3. テータでみる相撲
- 4. 今後の予定





どもども、何で相撲予測をやってるの? 相撲予測を始めた経緯/目的:

- ・ テータ分析を通じたドメイン知識の獲得
 - 素人であるほど、先入観無く始められるメリットも
 - ・ この発想はまさに「データドリブン思考」(の一例)
- ・機械学習による予測精度の検証()
 - ・ 場所開催中は15日間、毎日検証が行える
 - ・ 隔月開催の為、モデルブラッシュアップの時間も確保可能
- ・競馬予測の為の事前準備【◎】
 - いきなり、競馬予測に着手するのは難しい為、 簡単なテーマで肩慣らしをしておきたかった
 - ・ ルールが分かりやすい。国民的(?)スポーツ





大相撲とは力士が一対一の素手で行う真剣勝負の格闘技

大相撲とは?(1/2):

<取組に関するルール>

- ・ 取組は両者の暗黙の了解で決まる『立ち合い』で開始される
- 手で使って良いのは手のひらだけ。拳で殴ったり、肘打ちなどは反則となる

- ・勝敗は以下のいずれかによって決まる
 - (a)どちらか一方の体が土俵外に着地する
 - (b) どちらか一方の足の裏以外が着地する
 - (c) 反則行為を行った場合(8つの禁じ手)





大相撲の醍醐味は、決まり手の多さ(?)と『小よく大を制す』の場面が見られること 大相撲とは?(2/2):

・ 決まり手: 全部で82手

{ 基本技(7), 投げ手(13), 掛け手(18), 反り手(6), 捻り手(19), 特殊技(19) }

・ 非技: 全部で5手

{ 勇み足, つき手, 踏み出し, 腰砕け. つきひざ }

◆ 決まり手上位10手

No	決まり手	構成比(%)	累積 構成比(%)
1	寄り切り	27. 6%	28%
2	押し出し	22. 3%	50%
3	叩き込み	8. 9%	59%
4	突き落とし	6. 0%	65%
5	上手投げ	4. 4%	69%
6	引き落とし	3. 9%	73%
7	突き出し	3. 2%	76%
8	寄り倒し	3. 0%	79%
9	押し倒し	2. 8%	82%
10	送り出し	2. 7%	85%
_	その他	15. 0%	100%

※データ期間:2013/01~2019/09



· 大相撲の特徴:<u>体重による階級分けがない!</u>

巨漢力士を体重が半分ぐらいの小兵力士が倒す、といった「小よく大を制す」場面が見られることも!

今場所の日々の取り組みの勝敗を予測分析の前提:

- · 予測対象(目的変数):
 - ・ 場所中の日々の取り組みの勝敗を予測する
- ・ 番付ランク: 幕内・十両のみ (上位2階級)
 - · {「幕内」「十両」「幕下」「三段目」「序二段」「序/口」}
- ・ データ期間: 直近2.5年
 - · 2017年1月場所~2019年9月場所(隔月)
- ・ 先場所までのデータを用いて今場所の勝敗を予測
 - ・ つまり、今場所中の前日までのデータは利用しない
 - ・ 今後は、今場所中のデータの利用も検討予定



学習用と予測用で異なるテータソースを選定データソースの選定:

- <学習用/予測用データの要件>
- □【学習用示ータ】
 過去分の示ータが十分に蓄積されていること
- □【予測用示ータ】 リアルタイムに示ータ更新がされていること

< 元ータソース候補>

- ・ [A] 相撲協会: ►【予測用データ】 http://www.sumo.or.jp/
- ・ [B] 相撲レファレンス: ►【学習用元一タ】 http://sumodb.sumogames.de/Default.aspx?l=j
- [C] 相撲星取表(250年以上にわたる大相撲の記録サイト):
 http://sumo-hositori.com/link/link.html



<目次>

- 1. 分析の前提
- 2. 予測モデル
- 3. 示一タでみる相撲
- 4. 今後の予定





今回は(a)(b)2つの予測モデルを構築 予測モデル概要:

- (a) 機械学習モデル:
 - ・ { 勝ち= 1. 負け=0 }の2値を機械学習モデルで予測
 - ・ LightGBMモデル
- (b) 戦闘力推定モデル (※次スライト も参照):
 - · 過去の対戦成績から各力士の強さ(Intensity)を推定
 - Bradley-Terryモデル(1952年に提案された古い統計モデル)
- ・ (c) (a)と(b)のハイスリッドモデル:
 - ハイブリッドにすると精度が上がるか?
 - ・現在は未対応





Bradley-Terryモデルは、対戦型のスポーツにおいてチームの強さを推定する為のモデル

(参考)Bradley-Terryモデルについて:

- ・ 野球、サッカー、相撲、囲碁・将棋などの勝敗データの利用 例) W杯の勝敗予測(パウル君!)
- BTモデルの発展系のモデルもたくさんある(らしい)例。引き分けや、時系列を考慮するもの etc
- p_{ij} : プレイヤー i がプレイヤー j に勝つ確率. $V_i = \log(\pi_i)$: i の戦闘カ

•
$$V_i - V_j = \log(\pi_{ij}) - \log(\pi_{ji}) = \log(\frac{\pi_i}{\pi_i + \pi_j}) - \log(\frac{\pi_j}{\pi_i + \pi_j}) = \log(\frac{p_{ij}}{1 - p_{ij}})$$

- 戦闘力の差が対数オッズ比になるとする(差が大きいと確率が大きくなる)
- 全プレイヤーの対に関して独立性を仮定して積をとった尤度関数で最尤法.
- ただし、パラメータの識別のために制約が必要。
- よくある制約は、戦闘カパラメータの和が○か、<u>戦闘カパラメータのどれかが○</u>、



予測ツールを作成し自動しポーティング 予測ツール概要(1/5):

- レポート出力時刻(daily):
 - 7時:予測結果(01_pred)
 - 18時(取り組み終了後): 的中率(02_backtest)

- <予測ツール機能>
- ・ 勝敗予測 (a.機械学習モテル)
- ・ " (b.戦闘力推定モデル)
- · 力士の強さランキング (b.戦闘力推定モデル)
- ・ モデル別的中状況 (a, b各々)



予測ツールを作成し自動レポーティング

予測ツール概要(2/5): 各モデルによる勝敗予測(01_pred)

取り組み開始前に予測結果を出力し、中継を待つ

1-a. 勝敗予測 (機械学習モデル)





予測ツールを作成し自動しポーティング

<u>予測ツール概要(3/5): 各モデルによる勝敗予測(02_backtest)</u>

勝敗実績と予測結果を照合し、的中状況を確認

1-a. 勝敗予測 (機械学習モデル)

9日目 (11/18) 8日目 (11/17) 7日目 (11/16) 6日目 (11/15) 5日目 (11/14) 4日目 (11/13) 3日目 (11/12) 1日目 (11/10) 2日目(11/11) 【8日目(11/17) : 的中率=50.0%(16/32)】 予測結果 Show 10 ▼ entries カナx 🍦 力士Y 予測一致 決まり手 (last) All All All 玉監 白鵬 【白鵬】 寄り切り 76.5 宇富士 高安 【高安】 79.3 告早勝 【告果勝】 押し出し 明牛 61.8 寄り切り 御嶽海 碧山 【御嶽海】 【御嶽海】 62.0 朝乃山 【阿炎】 押し出し 阿炎 【朝乃山】 53.0 押し出し 【北勝富士】 北勝富士 遠藤 61.6 大栄翔 隠岐の海 【大栄翔】 押し出し 56.0



戦闘力推定モデルを用いて力士の強さを可視化 予測ツール概要(4/5): カナの強さランキング(戦闘力推定モデル)

4. 力士の強さランキング

令和元年十一月場所

【力士の強さランキング (70 Entries)】





日々のモデル的中状況をモニタリング

予測ツール概要(5/5): モデル別的中状況

番狂わせ、休場による不戦勝、反則負け等のイレギュラー時には的中率が低下する傾向

3. モデル別的中状況

令和元年十一月場所







< 目次>

- 1. 分析の前提
- 2. 予測モデル
- 3. テータでみる相撲





立ち合いのスピードランキング(平成29年初場所/春場所) データでみる相撲(1/4):

白鵬 1位





https://togetter.com/li/1113296

立ち合いの速さも 映像からデータ化 される時代に!





立ち合いの腰の低さランキング(平成29年初場所/春場所) データでみる相撲(2/4):

白鵬 3位





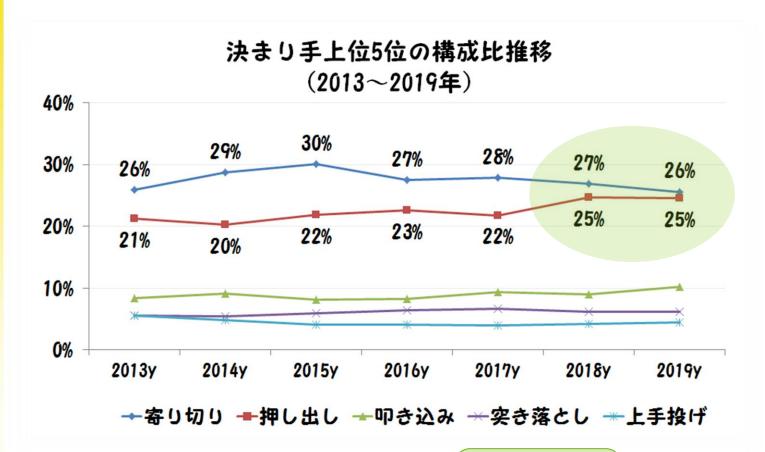
https://togetter.com/li/1113296

力士が撒く塩の量 もデータで出して 欲しいドスコイ!





近年は寄り切りがやや減少し、押し出しが増加 データでみる相撲(3/4):





最近は「押し相撲型の力士」が増えているらしいよ!



力士には、寄り切り型と押し出し型がいる模様 データでみる相撲(4/4):

◆ 寄り切り型力士

			決まり手数		構成比	
No	力士	決まり手	寄り切り	押し出し	寄り切り	押し出し
1	琴奨菊	295	163	41	55%	14%
2	栃ノ心	276	144	13	52%	5%
3	朝乃山	136	62	20	46%	15%
4	逸ノ城	245	111	32	45%	13%
5	稀勢の里	269	120	61	45%	23%
6	照ノ富士	204	91	16	45%	8%
7	遠藤	282	115	44	41%	16%
8	宝富士	297	118	42	40%	14%

◆ 押し出し型力士

<u>· · · · · · · · · · · · · · · · · · · </u>								
			決まり手数		構成比			
No	力士	決まり手	寄り切り	押し出し	寄り切り	押し出し		
1	北勝富士	138	21	70	15%	51%		
2	誉富士	237	16	115	7%	49%		
3	貴景勝	138	2	66	1%	48%		
4	玉鷲	300	15	143	5%	48%		
5	阿武咲	211	23	100	11%	47%		
6	琴勇輝	302	2	128	1%	42%		
7	大栄翔	238	18	93	8%	39%		
8	御嶽海	226	57	87	25%	38%		

※ データ期間:2013/01~2019/09







< 目次>

- 1. 分析の前提
- 2. 予測モデル
- 3. テータでみる相撲

4. 今後の予定





馴染みの薄い相撲を楽しく観戦したい 今後取り組みたいこと:

1. 予測精度の向上

- ・ 今場所中の情報をデータに織り込む予定
- ハイブリッドモデルの追加

2. 予測対象の拡大

- ・ 珍しい決まり手の予測
- ・ 荒れる日(=番狂わせが多い日)の予測
- ・ 今場所に躍進する力士の予測
- ・ 休場する力士の予測

3. 楽しく観戦する為の補助情報の活用

- ・ 力士の画像をスクレピングし、レポートに追加
- ・ 場所中の勝敗数ランキングの表示
- ・ 力士のSNS投稿(Twitter等)の活用





(おまけ) 画面広々、一文字力士対決!!









